

《 研 究 名 》 便検体からアデノウイルスが分離検出された乳幼児入院例の臨床像

へのご協力をお願い

(研究目的)

アデノウイルスにはAからIの9つのグループ（種）に100を超える”型”があります。このうち、Cの1・2・5とBの3が乳幼児におもに急呼吸器感染症を発症させます。これら4つの型も下部消化管に感染する可能性があることが示唆されていますが、国内において詳細は明らかにされていません。今回、入院を必要とされた乳幼児のお子さんで、便検体からアデノウイルスが分離検出されたお子さんについて臨床像を明らかにするための研究（後ろ向き観察研究）を行うことにしました。

(研究対象)

松江赤十字病院小児科において、2016年4月から2019年3月まで、6歳以下乳幼児入院例で便検体をウイルス分離を目的に島根県保健環境科学研究所（保環研）に送付し、アデノウイルスが検出された症例（31例）。

(研究期間)

2021年 1 月 1 日 ～ 2022年 3 月 31 日

(研究方法)

松江赤十字病院小児科において2016年4月から2019年3月までに入院となった6歳以下の乳幼児で便検体からアデノウイルスが検出された症例を対象とし、各症例の臨床情報は、電子カルテ診療録から後方視的に抽出しました。

(その他)

ウイルス分離を目的とした検体採取と検査の実施は、あらかじめ保護者の方に同意を得たうえで行わせていただいていたいました。今回の研究は、対象となるお子さんの診療情報だけを匿名化して用いる後ろ向きの観察研究で、お子さんに対して新たに侵襲や介入がないことから国が定めた倫理指針、「必ずしも対象となる患者様お一人ずつから、臨床研究ごとに直接同意を得る必要はない」のあることを添えておきます。

(問い合わせ先)

松江赤十字病院

＜診療科＞感染症科

＜役職等＞部長

＜氏名＞成相 昭吉

電話番号 0852-24-2111（代表）

対応時間 平日 8：20～16：50